

【幼保小連携推進テーマ】

施設一体型における保育士・教員の連携のありかた
～子どもたち・保護者の育ちを支援する力～

横浜市立大曽根小学校
大曽根コスモス保育園

設定理由

- ★施設一体型となっている強みを生かし職員間の交流を深める。
- ★子どもへの育ちに対する支援の共通理解をする。
- ★他者を意識した学びを経験し、豊かな成長に繋げる。

1. 主な活動

- ① 1年生の授業参観
- ② コスモス保育園の施設・保育見学
- ③ 避難訓練参加
- ④ 小学校の重点研究会参加
- ⑤ スポーツフェスティバル練習見学
- ⑥ コスモス保育園運動会参観

2. 子どもたちの交流

【1年生 生活科 あきのおもちゃであそぼう！】

★保育園の子とたくさん遊んでみたいな！

工夫してたのしいおもちゃができたよ！



どんぐりやまつぼっくりで、楽しいおもちゃをつかったよ！

【1年生 生活科 ふゆとあそぼう！かぜとあそぼう！】

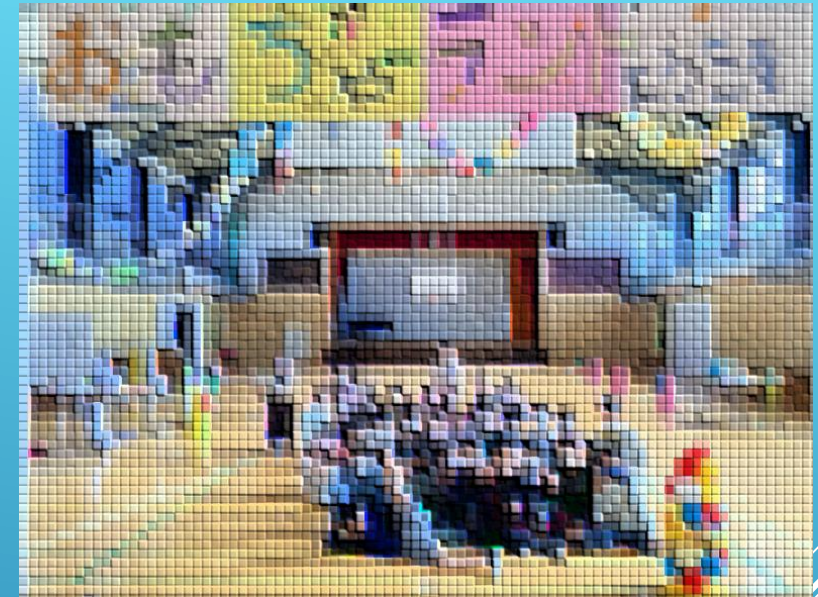
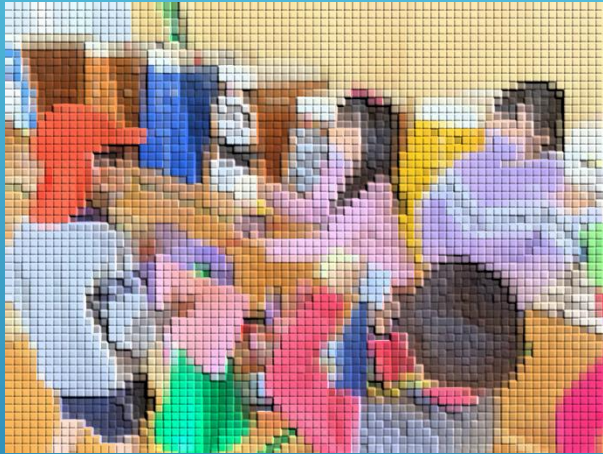
★コスモス保育園の子たちと一緒に遊ぼう♪

風車とかげふみおにで、
いっしょにあそぼう♪



保育園の子たちも楽しめるルールを考えたいよ！

【2年生 生活科 おもちゃランドへようこそ！】

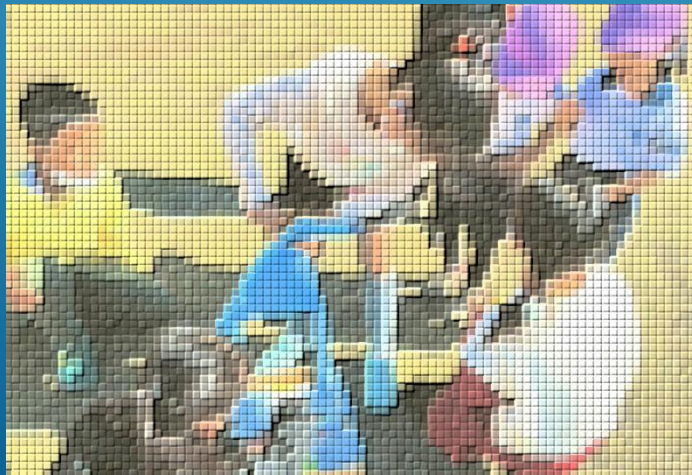


コスモス保育園の
年長さんを招待して
楽しみました！

【3年生 総合的な学習の時間 まちのえがお・みんなのえがおを広げよう】

★交流の目標 保育園のみんなを「にっこり」笑顔に！

「笑顔にするぞ！大作戦」
スタート



目標達成！

大成功！！

3. 小学校職員と園児の交流



楽しい英語の時間♪



小学校の教員も一緒に！

4. その他の交流

【5歳児クッキング】



上手にじゃがいもを
むいていました！！

【1年生 運動会練習見学】



運動会のダンスを
楽しそうに見学して
いました！

【避難訓練】



5. 今年度のふりかえり

【成果】

○職員間での交流を通して、入学前の子どもたちの様子を
知ることができた。

○入学してからの様子を伝えることで、保育園から小学校
に上がって、成長している面を確認できた。

○保育園児が校内を散歩したり、芝生で運動をしたりする
様子があることで、小学生が保育園児を意識できた。

○学習計画を立てる際に、自然と相手意識が保育園児に向
いた。

【課題】

- ▲職員間の交流➡低学年の教員がメインになり、全職員が交流はできなかった。
- ▲時間の制約があり、施設は同じでも調整が難しかった。
- ▲年間のカリキュラムに子どもたち同士の交流を組み込んでいなかったため、急遽お願いすることが多くなってしまった。
- ▲学年で交流の内容が似たものになってしまった。

【次年度に向けて】

- ①カリキュラムの見直し
- ②職員交流の見通し
- ③職員研修の設定
- ④入学児童の情報交換